

PCIホールディングス株式会社（証券コード：3918 サンキューいっぱい！）

2019年9月期 決算説明会資料 2019年11月25日

ステークホルダーの皆様へ

当社は、2019年11月13日に2019年9月期決算を発表いたしました。**8期連続の増収増益**を達成することができ、これもひとえにステークホルダーの皆様の日ごろからのご支援の賜物と感謝いたします。

当社グループは、ITをもって「**安心・安全・豊かな社会に貢献する会社**」を目指し、それぞれに特徴ある事業会社で構成されております。**継続的なM&Aや資本業務提携の実行**により、Connected Worldでの明らかなレゾナードル（存在意義）を体現するため「**IoT/IoE社会の循環構造**」を構築いたしました。

さらに、**ESGの3つの観点（環境、社会、ガバナンス）**に加え、社会の発展に『**必要**』とされるソフトウェア開発技術を提供しながら、常に革新的かつ『**未来的**』な分野へ挑戦し、信頼性の高い『**強い信念**』を持った技術集団であり続けたいと考えております。

当社グループは、これからも「**安心・安全・豊かな社会**」を実現すべく、「**IoT/IoE/IoX社会 = Connected World**」、「**自動走行・自動運転・Connected Car**」、「**VR/AR**」、「**AI**」、「**位置情報**」、「**画像認識**」、「**量子コンピューティング**」等へソフトウェア技術を提供するとともに、「**M&A戦略**」により**グループ規模拡大**を進めてまいります。

引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

PCIホールディングス株式会社
代表取締役社長 原口 直道

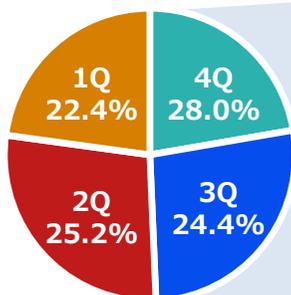


1. 好調なIT投資環境に加え、M&Aによる規模拡大の結果、前期を上回る売上高実績 ⇒ P6

<2017/9 連結売上高>

通期実績： **11,397百万円**

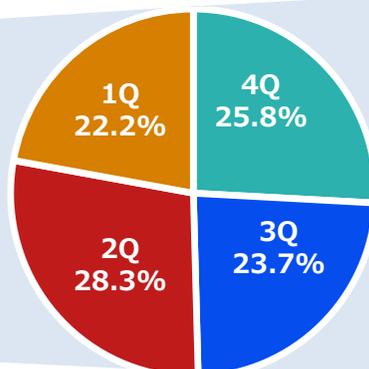
(前期比34.0%増)



<2018/9 連結売上高>

通期実績： **14,493百万円**

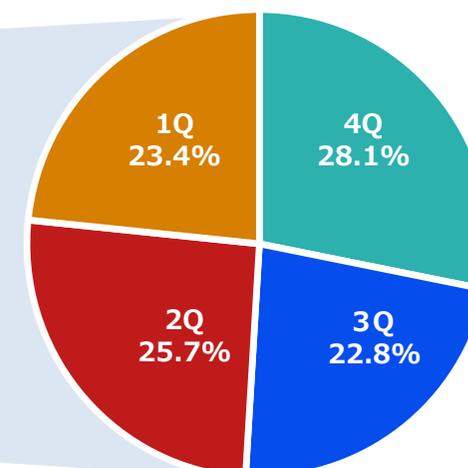
(前期比27.2%増)



<2019/9 連結売上高>

通期実績： **16,540百万円**

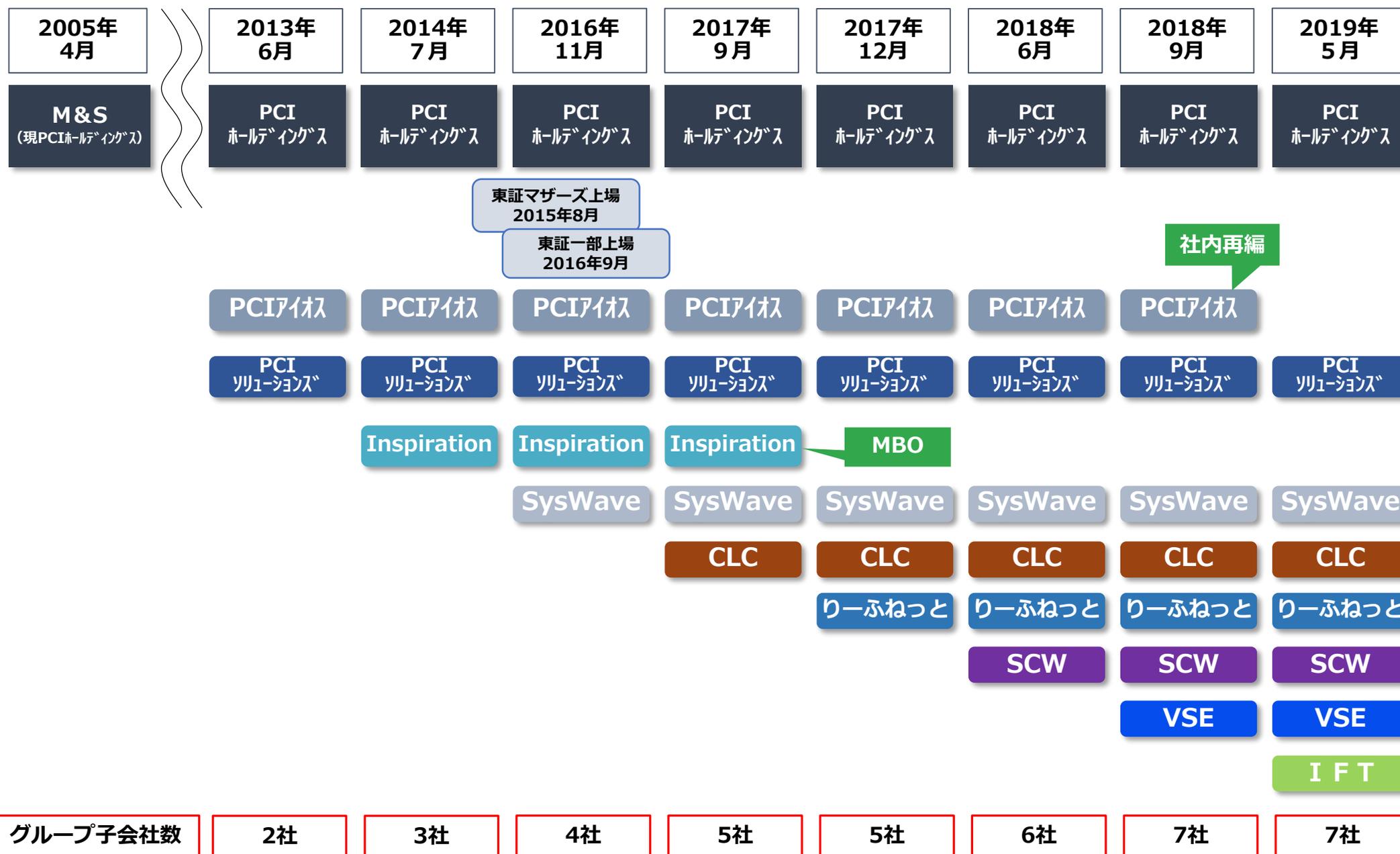
(前期比14.1%増)



2. 引き続き「安心・安全・豊かな社会」の実現と、次世代技術の創出に向けた研究開発にも注力 ⇒ P17~

- 【事業環境】
- 「第4次産業革命」の進展により、**クラウドやビッグデータ、IoT/IoE、AI、5G等**に対し顧客ニーズが多様化しIT投資が旺盛。
 - サイバーセキュリティ強化**への優先的投資傾向が顕在化。
- 【売上伸長】
- 好調なIT投資環境**を受け続伸。**M&Aによる規模拡大**も奏功。
 - インフィニテック社の子会社化等、**事業規模拡大に向けた各種施策**に取り組む。
- 【新規事業】
- 「AppGuard®」に係る販売促進及びリセラー支援活動等、**戦略的先行投資**継続。

M&A戦略によるグループ拡大の変遷



(単位：百万円)



期末子会社数	2社	3社	3社	3社	5社	7社	7社	M&A
期末従業員数	829名	842名	856名	870名	1,124名	1,195名	1,253名	積極採用



1. 決算概要	5 ページ
2. CSR・ESGへの取り組み	12 ページ
3. 株式会社リーふねっとのご紹介	14 ページ
4. 実用化されたIoT/loEソリューション	17 ページ
5. 中期ターゲットと株主還元方針	21 ページ
6. 決算期末後のリリース	24 ページ
7. 参考資料	27 ページ

BUSINESS SOLUTION

PCIホールディングス株式会社

(証券コード 3918 東証一部上場)

- PCIソリューションズ株式会社
- 株式会社シスウェーブ
- 株式会社シー・エル・シー
- 株式会社リーふねっと
- Safer Connected World株式会社
- VSE株式会社
- 株式会社インフィニテック



1. 決算概要



2019年9月期 決算業績サマリー



売上高：16,540百万円（前連結会計年度比14.1%増）。あらゆるモノがインターネットを介して繋がる本格的なIoT社会の到来を見据え、多様化するニーズに対応する高品質サービス提供に引き続き邁進。グループ間シナジーによる多角化も図る。

営業利益：822百万円（前連結会計年度比12.8%増）。海外企業への出資契約締結の他、M&A実行、サイバーセキュリティ製品「AppGuard®」のプロモーション等、事業規模拡大に向けた各種施策に取り組む。

(百万円)	18年9月期			19年9月期				通期計画 達成率
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 実績	下期 実績	通期 実績	通期計画	
売上高	7,308	7,184	14,493	8,112	8,428	16,540	16,000	103.4%
売上総利益	2,016	1,930	3,946	2,026	2,322	4,349	-	-
(売上総利益率)	27.6%	26.9%	27.2%	25.0%	27.6%	26.3%	-	-
営業利益	494	234	728	387	435	822	800	102.8%
(営業利益率)	6.8%	3.3%	5.0%	4.8%	5.2%	5.0%	5.0%	-
経常利益	516	254	771	390	453	843	816	103.4%
(経常利益率)	7.1%	3.5%	5.3%	4.8%	5.4%	5.1%	5.1%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	288	181	469	191	268	459	540	85.2%
(当期純利益率)	3.9%	2.5%	3.2%	2.4%	3.2%	2.8%	3.4%	-
EPS	71.01円	43.23円	113.74円	45.73円	65.36円	110.94円	130.27円	-

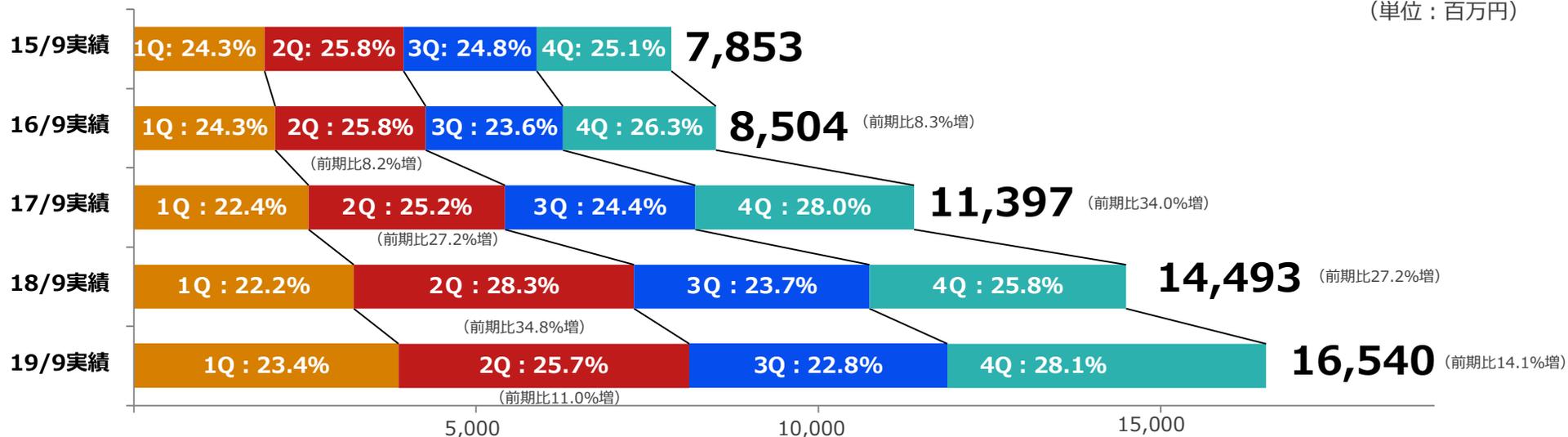


2019年9月期 業績推移 (サマリー)

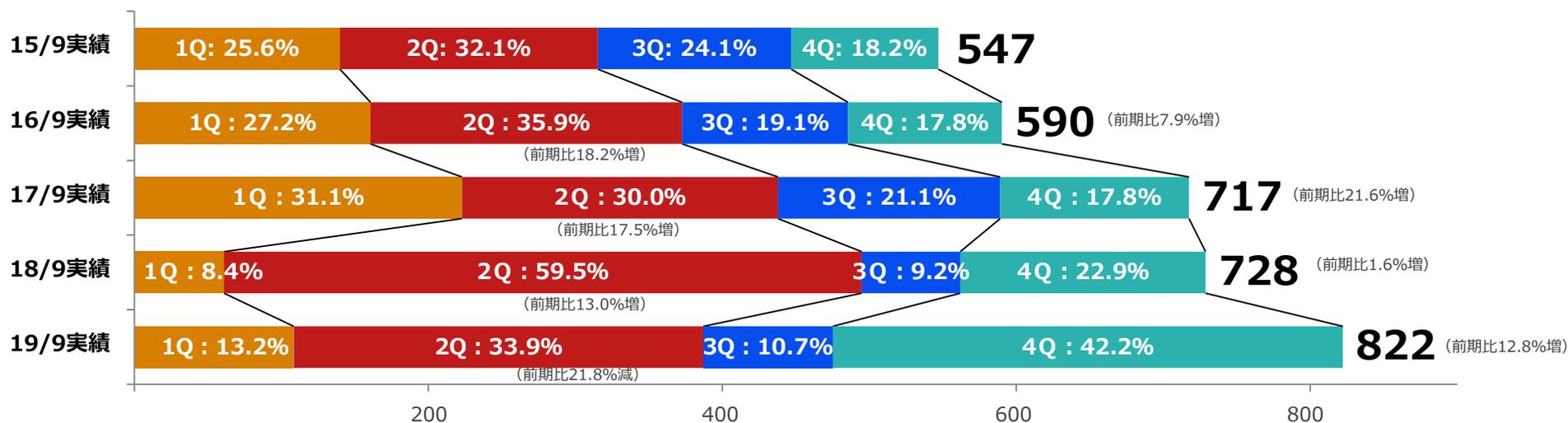


(単位：百万円)

売上高



営業利益



IR Movies

エンベッドソリューション

～スマートカー・自動運転シミュレーター開発～

- 市場における優位性を確立するため**高度な技術を要するエンベッド技術者育成に努める**と共に車載情報系案件からより参入障壁の高い車載制御系、**ADAS、AUTOSAR系開発案件の受注拡大に注力**
- 開発実績と自動車業界における先進技術を用い、**先進運転支援システム系開発案件等、スマートカー関連案件の引き合いが継続**した他、**PBX開発・センサー関連開発案件**が好調に推移
- **グループ事業会社間のシナジー効果**によりエンベッド技術者確保・各種案件獲得に至る
- **総じて好調**

ビジネスソリューション

～ビジネスパートナー強化で事業規模が拡大～

- 既存取引先との深耕拡大及び新規顧客の開拓に努める
- **多岐にわたる顧客需要**に応えるべく、高度な技術を要する**ビジネスパートナーとの更なるアライアンスを強化**
- 新たに連結子会社となった**株式会社インフィニテックの業績を第4四半期連結会計期間より計上**。同社が展開する**文教系ソリューションが収益に大きく寄与**
- 企業向けソフトウェア開発は、**産業・流通向け案件が増加し、エネルギー関連案件等も継続受注**
- メインフレーム分野は、Dell EMCのハイエンドストレージ案件を含めた**大型プロジェクトが売上に大きく貢献**
- **総じて堅調**

IoT / IoE ソリューション

～インダストリアルIoT、AppGuard®～

- 株式会社リーふねつとが展開する**通信事業分野が好調**に推移し、売上に寄与
- 前連結会計年度より取扱いを開始した「AppGuard®」の**知名度向上**及び当社グループを通じた販売代理店拡充による**販路拡大と販売強化**のため、これらに係る**販管費が増大**
- この事業領域においても、グループ間シナジーによる多角化を図る
- **研究開発も継続**

半導体トータルソリューション事業

～ファームウェア・イメージセンサ向けテスト開発～

- 新規事業分野である**ターンキービジネス**拡販による大型案件の受注や新規顧客の開拓が奏功し、売上に貢献
- 一部の顧客における**在庫調整の影響**を受けたことにより、**セグメント利益は前連結会計年度に比べて大幅減**
- AIやIoT需要の高まりを背景とした**半導体市場の中長期的な拡大**を見込み、**新技術の開発**及び**自社製品の実用化**に向け、**研究開発へ積極投資**



2019年9月期 連結損益計算書



(百万円)	2018年9月期				2019年9月期			
	上期	3Q	4Q	通期	上期	3Q	4Q	通期
売上高	7,308	3,438	3,746	14,493	8,112	3,772	4,655	16,540
エンベデッドソリューション	2,368	1,125	1,282	4,776	2,747	1,341	1,492	5,581
ビジネスソリューション	3,519	1,452	1,588	6,560	3,555	1,481	2,095	7,132
IoT / IoE ソリューション	502	432	441	1,376	810	545	643	1,999
半導体トータルソリューション	917	427	433	1,779	999	404	423	1,828
売上原価	5,292	2,518	2,736	10,546	6,085	2,759	3,346	12,191
売上総利益	2,016	919	1,010	3,946	2,026	1,013	1,309	4,349
エンベデッドソリューション	521	231	250	1,003	604	321	325	1,250
ビジネスソリューション	940	339	415	1,695	814	292	593	1,701
IoT / IoE ソリューション	257	213	209	680	328	289	276	894
半導体トータルソリューション	296	134	135	566	279	110	113	503
販管費	1,521	852	843	3,217	1,639	925	962	3,527
営業利益	494	67	167	728	387	88	346	822
経常利益	516	80	174	771	390	95	357	843
税前利益	460	79	191	732	340	112	352	805
法人税等	172	42	47	262	139	50	118	308
親会社株主に帰属する当期純利益	288	38	143	469	191	60	208	459



連結貸借対照表

(単位：百万円)	2018年9月期	2019年9月期
流動資産	5,848	7,751
現預金	2,023	3,198
売上債権	3,378	4,016
その他	447	537
固定資産	3,398	3,563
のれん	1,189	1,084
投資有価証券	916	1,063
その他	1,293	1,416
資産合計	9,249	11,315
流動負債	2,917	3,562
仕入債務	859	980
借入・社債	332	811
その他	1,726	1,771
固定負債	1,168	2,719
借入・社債	558	2,009
退職給付に係る負債	140	180
その他	470	530
負債合計	4,086	6,281
純資産合計	5,162	5,033
負債純資産合計	9,249	11,315

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	2018年9月期	2019年9月期
営業活動によるCF	525	334
税金等調整前当期純利益	732	805
減価償却費	128	109
のれん償却額	88	105
売上債権の増減額	▲ 333	▲ 592
たな卸資産の増減額	▲ 18	▲ 5
仕入債務の増減額	88	110
その他	▲ 160	▲ 198
投資活動によるCF	▲ 779	▲ 442
有形固定資産の取得	▲ 118	▲ 42
投資有価証券の取得	▲ 474	▲ 315
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	▲ 4
その他	▲ 187	▲ 81
財務活動によるCF	▲ 235	1,324
長短借入金及び社債の純増減額	107	1,930
配当金の支払額	▲ 188	▲ 353
自己株式取得による支出	▲ 149	▲ 249
その他	▲ 5	▲ 4

(百万円)	20年9月期 (計画)									19年9月期 (実績)
	上期	対前期比		下期	対前期比		通期	対前期比		
売上高	8,593	+480	(+5.9%)	8,807	+378	(+4.5%)	17,400	+859	(+5.2%)	16,540
売上総利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,349
(売上総利益率)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26.3%
営業利益	452	+64	(+16.8%)	428	▲7	(▲1.6%)	880	+57	(+7.0%)	822
(営業利益率)	5.3%	+0.5pt		4.9%	▲0.3pt		5.1%	+0.1pt		5.0%
経常利益	461	+70	(+18.1%)	439	▲14	(▲3.1%)	900	+56	(+6.7%)	843
(経常利益率)	5.4%	+0.6pt		5.0%	▲0.4pt		5.2%	+0.1pt		5.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	237	+45	(+24.0%)	273	+4	(+1.6%)	510	+50	(+10.9%)	459
(当期純利益率)	2.8%	+0.4pt		3.1%	▲0.1pt		2.9%	+0.1pt		2.8%
DPS (円)	30円	-		32円	-		62円	-	-	60円
配当性向 (%)	-	-		-	-		50.0%	▲4.1pt		54.1%
EPS (円)	57.63円	+11.90	(+26.0%)	66.38円	+1.02	(+1.6%)	124.01円	+13.07	(+11.8%)	110.94円

Tips!

来期計画のPOINT :

- 1) M&AやIoT/IoTソリューション事業の寄与は見込まず
- 2) 先端技術の研究開発、積極的な人財採用を継続しつつ、一定の営業利益を確保
- 3) 事業ポートフォリオの充実を目的としたM&Aや提携を引き続き実施



2. CSR・ESGへの取り組み



Copyright (C) 2019 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.



ESG (Environment = 環境、Social = 社会、Governance = 企業統治) に、継続的かつ積極的に貢献

早稲田大学理工学術院総合研究所との共同研究を開始

早稲田大学理工学術院総合研究所（所長 木野邦器氏）と次世代 IT 技術の開発とその 技術を核とした事業基盤の創出を目的とする共同研究契約を締結。「自動運転」「画像処理」「5G」「エッジコンピューティング」「位置測位」「セキュリティ」等の要素技術をキーコンセプトに、スマートで安心な次世代社会へ貢献する研究・開発に共同で取り組むとともに、新しいサービス価値を創造することで事業基盤を構築し社会に発信することを目的。PCI ソリューションズは、早稲田大学西早稲田キャンパス内 55 号館に設けられた研究室を拠点に共同研究開発を推進。

1. 移動環境下での**コネクティッドカーの運転支援、自動運転、完全自動運転**を目指して、画像のリアルタイム伝送を可能とするシステムの構築に必要な処理・伝送技術の研究開発を行うとともに、**自動運転支援への適用を目指したサービスモデルの構築**
2. **画像認識技術と AI** を組み合わせた、**画像の解析・データ化・マッチングを行う画像認識エンジンのアルゴリズムの開発**及び、その技術に基づく新たなサービスの提供
3. **産業現場における労働生産性の向上**を目的とした「ヒト・モノ」の動き（移動）の最適化、社会的要請である防犯・防災（減災）による「安心」できる社会基盤の構築で必要となる**「ヒト・モノ」の位置や動きを精度よく且つリアルタイムな伝送、シグナルを情報へと変換・利活用する技術の研究開発とビジネス化。**

学校法人立教学院 立教池袋中学校・高等学校「数理研究部」のサポート活動

学校法人立教学院立教池袋中学校・高等学校「数理研究部」が取り組む研究活動へのサポートを開始。RISCs (Rikkyo Ikebukuro Support Companiesの略称。本活動に賛同・協力する事業会社群のこと) と共に、「**理工系人材の育成**」、「**イノベーション環境の提供**」をテーマに、中高生が最先端技術に触れる機会の提供と社会的意義が深く新たな価値創造ができる**人材育成を目的**。

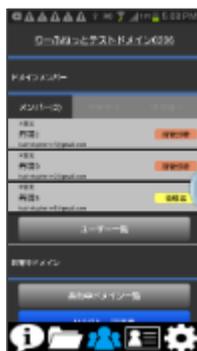
AEDリモート監視システム

公共性の高い製品なので、いざというとき「使えない」をなくすためAEDの電池残量やパッドの交換期限をリモートで監視するシステムを作成しました。
 電池残量の低下するとユーザーにアラート送り、常に使用可能な状態に保ちます。
 スマホアプリで、AEDの使用状況を簡単に取得できます。
 2010年に現在で言うIOTで提案した案件となります。



PC画面

スマホ画面



機器ID	設置人	更新人	設置時刻	電池残量	パッド有効期限
00001	山田太郎	山田太郎	2019/01/01 00:00	95%	2020/03/31
00002	山田太郎	山田太郎	2019/01/01 00:00	80%	2020/03/31
00003	山田太郎	山田太郎	2019/01/01 00:00	10%	2020/03/31
00004	山田太郎	山田太郎	2019/01/01 00:00	5%	2020/03/31
00005	山田太郎	山田太郎	2019/01/01 00:00	10%	2020/03/31
00006	山田太郎	山田太郎	2019/01/01 00:00	5%	2020/03/31
00007	山田太郎	山田太郎	2019/01/01 00:00	10%	2020/03/31
00008	山田太郎	山田太郎	2019/01/01 00:00	5%	2020/03/31
00009	山田太郎	山田太郎	2019/01/01 00:00	10%	2020/03/31
00010	山田太郎	山田太郎	2019/01/01 00:00	5%	2020/03/31

通信事業



『67コール』は0067で始まる番号に電話することにより様々なサービスを受けることができます。

例)



会員登録なしにプレゼント応募やアンケートに参加することができます。

※通話料課金が会員登録なしで可能なので、様々な利用シーンが考えられます。



- ✓ トラッキモ社は米国に本社があるイスラエル系ハイテクベンチャーです
- ✓ トラッキモ社は、世界市場で小型・軽量・高精度・高機能・低価格・長い電池寿命を誇るGPS端末であるTrackimo GPS Tracker端末を提供しています。
- ✓ コンパクトなTrackimo GPS Trackerは世界中の携帯電話カバレッジエリアで作動し、ローミング料金は不要です。GPSと3GSMにより、即時且つ高精度の現在位置情報及び履歴情報が確認できます。

海外市場における主要顧客

Carriers

Telefonica

TURKCELL

orange

Claro

Singtel

vodafone

telcel

verizon

Platform Providers

Hewlett Packard Enterprise

ERICSSON

Nokia Networks

Insurance

AXA

Allianz

mySafety



テキスト、Eメール及びアプリメッセージによる、GPS端末の移動、設定速度を超えた移動、及び急動作又は衝撃のユーザー・アラート機能



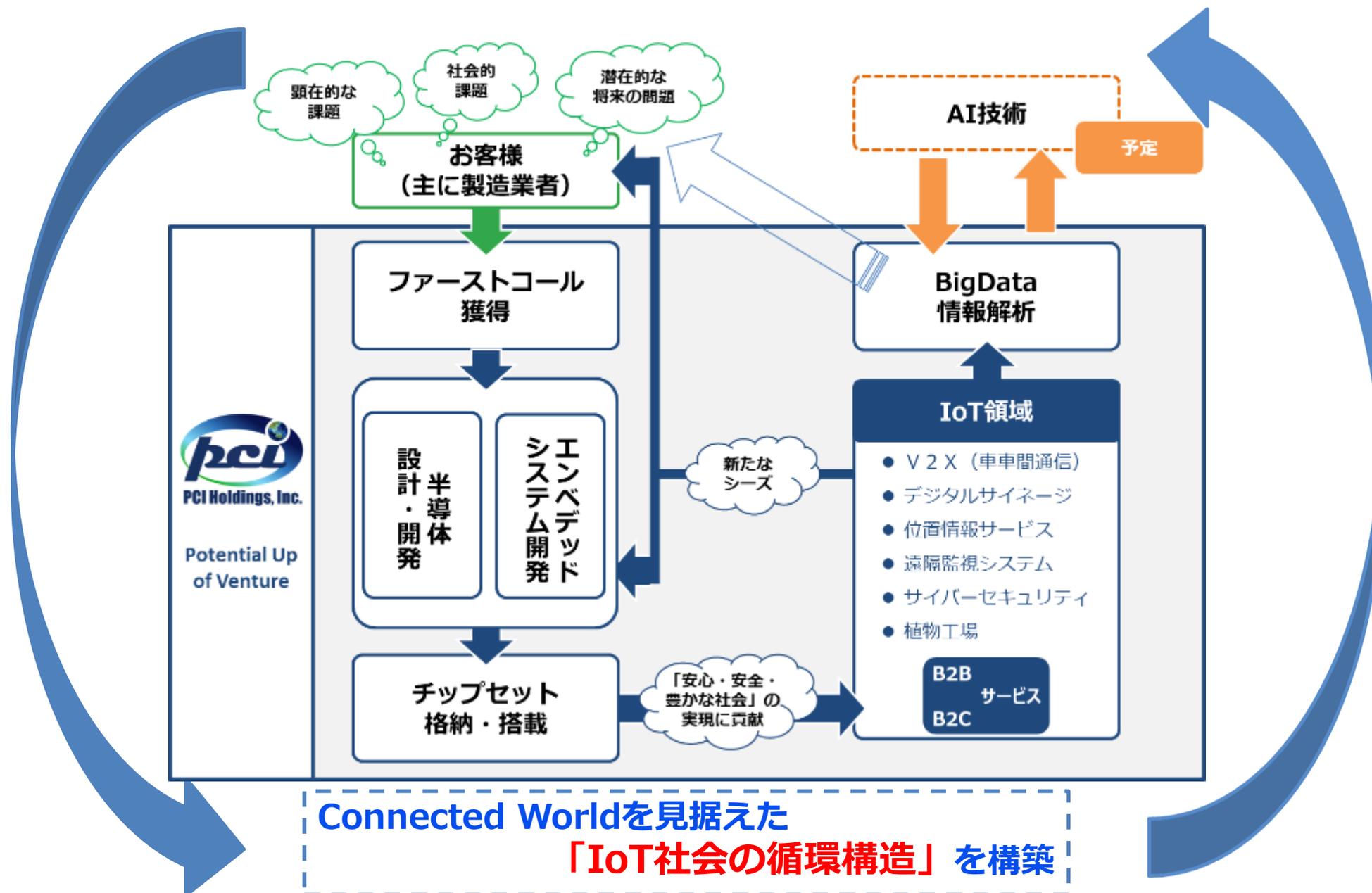
SOSボタンを押すことにより、端末の位置をアプリメッセージ、Eメール又はテキストにて送信。

- ✓ アプリをウェブ又はスマホで入手し、アラート設定及びご自分の全トラックをマップ上で確認することが可能です。



4. 実用化されたIoT/IoEソリューション

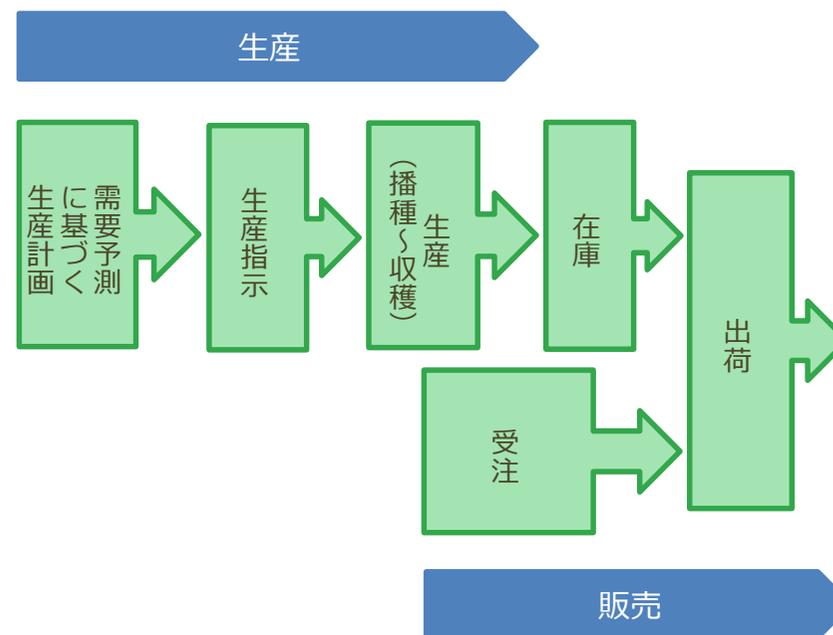
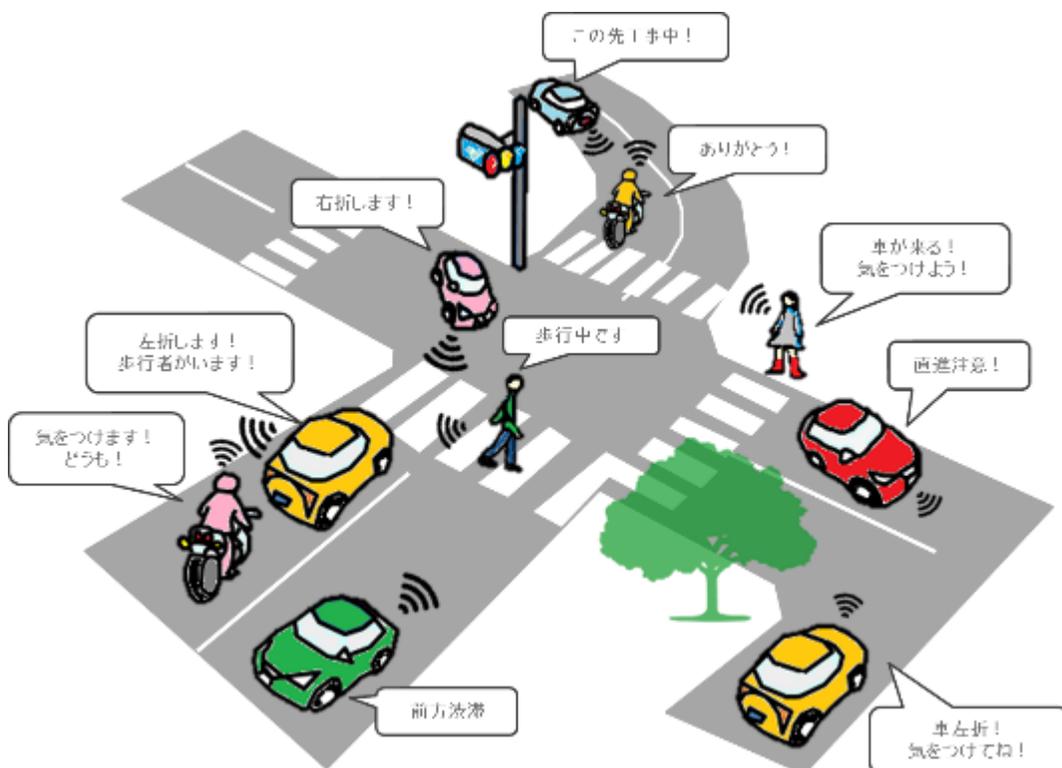




V 2 Xとは、自動車 (Vehicle) と他の様々な機器やもの (X) とを通信でつなげること。

当社は**V 2 Xユニットのソフトウェア開発**と**V 2 Xを活用した新サービスを提案**

当社の**資本業務提携先**である株式会社レスターホールディングスのグループ子会社が展開する**植物工場事業**に対し、**当社が一部出資**し、同事業に係る**システム開発を受託**



平成30年度版 **準拠**
 内閣サイバーセキュリティセンター
 ガイドライン準拠製品！

革新は、違うカタチをしている。
APPGUARD
 BPw, reinventing Cybersecurity

サイバーセキュリティに対する脅威への対応が社会にとって共通の課題となっている今日、エンドポイントセキュリティ対策は、情報を扱う企業・個人の責務でもあります。様々なソフトウェア企業より、アンチウイルス、AI機械学習、振る舞い検知、EDRなど、それぞれの特徴をもった製品が市場で入手可能です。そのどのカテゴリにも属さない、セキュリティを超えセーフティを追い求める新概念の製品、AppGuardのご紹介です。

単体製品で準拠 APPGUARDとは

サイバーセキュリティ基本法に基づいて策定された「政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準」を解説するガイドラインが、内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）により2018年7月25日に発表されました。情報セキュリティ対策のための遵守事項として、「既知及び未知の不正プログラムの検知及びその実行の防止の機能」が含まれており、参照すべきガイドラインとして要約すると下記3点があげられています。

NISCガイドライン	APPGUARD
シングネチャにより検知する方式以外を採用しての未知の脅威への対策	シングネチャ（定義）ファイルに依存しません
OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正なアクセスや書き込みを監視し、不正プログラムの実行を防止・隔離	特許取得の隔離技術=Isolation Technologyにより、OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正アクセスを防止
端末への負荷の軽減	エンジンは1MB以下で軽量、定期的なスキャン/アップデートは不要です

標的型メール攻撃対策、ファイルレスマルウェア対策、ランサムウェア対策
 に絶大な効果を発揮する、まったく新しいエンドポイントセキュリティ製品！

AppGuard, AppGuardのロゴは米国法人AppGuard, Inc.、または株式会社Blue Planet-works及びその関連会社の、米国、日本またはその他の国における登録商標、または、商標です。その他のすべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。その他の名称もそれぞれの所有者による商標である可能性があります。製品の仕様と価格は、都合により予告なしに変更することがあります。本文書の記載内容は、2018年8月現在のものです。

「AppGuard®」テクノロジーについて

<特徴>

- ① **未知のマルウェアをブロック**
- ② **完全防御**
- ③ **20年以上破られたことのない実績**

<採用実績>

米国・州政府関連機関、米国特殊任務関連機関等

<主要株主>

ANAホールディングス株式会社、
 第一生命保険株式会社、
 損害保険ジャパン日本興亜株式会社、
 株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス、
 大興電子通信株式会社、
PCIホールディングス株式会社、
 株式会社フェイス、株式会社ジェイティービー、
 吉本興業株式会社、他

2015年1月、内閣に「サイバーセキュリティ戦略本部」が設置され、同時に、内閣官房に「内閣サイバーセキュリティセンター（NISC=National center of Incident readiness and Strategy for Cybersecurity）」が設置。サイバーセキュリティ政策に関する総合調整を行いつつ、「自由、公正かつ安全なサイバー空間」の創出に向け、官民一体となって様々な活動に取り組んでいる。
 内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）Webサイトより抜粋

5. 中期ターゲットと株主還元方針

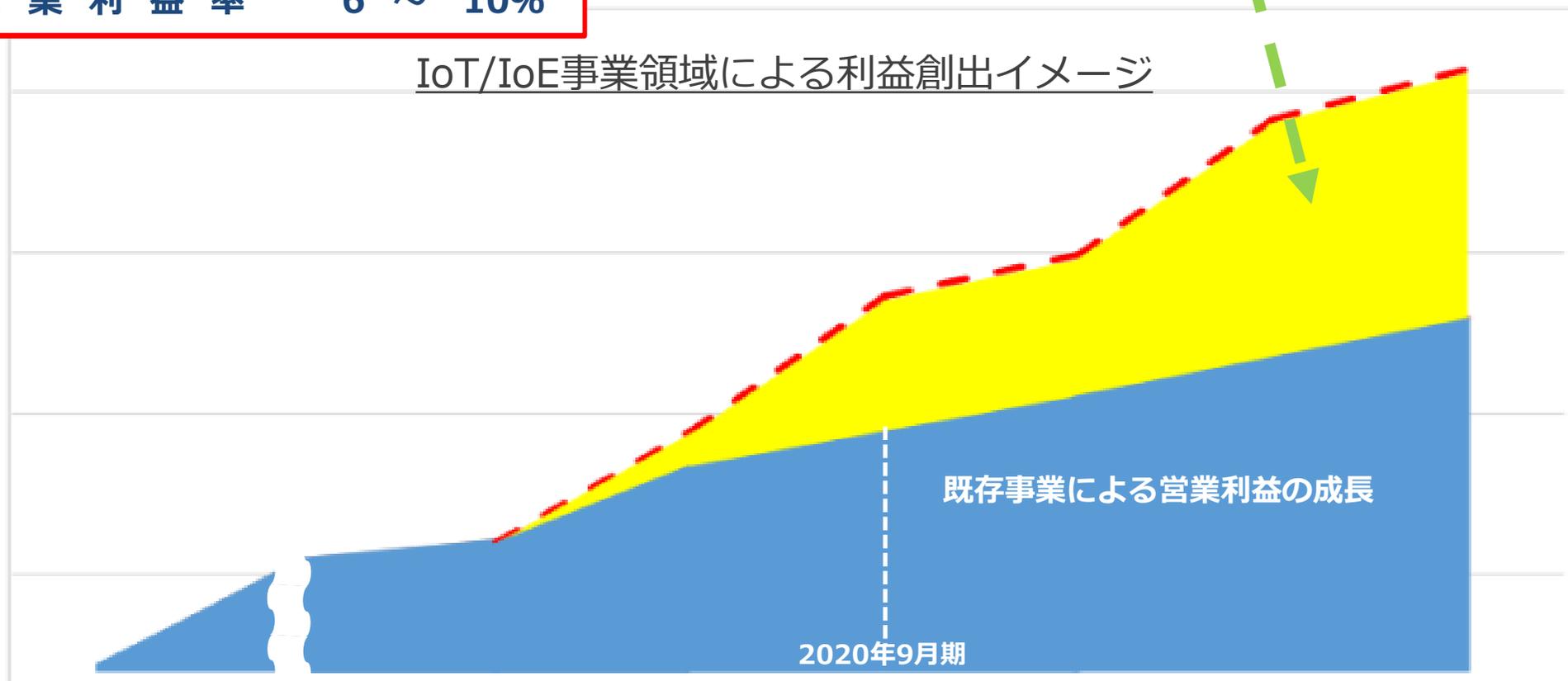


中期ターゲット

売上高成長率	5 ~ 20%
売上総利益率	20 ~ 30%
営業利益率	6 ~ 10%

M&A及び、IoT/IoE事業領域
(V2X、情報セキュリティ、位置情報の活用等)
による増加収益

IoT/IoE事業領域による利益創出イメージ



※ IoT/IoE事業領域による利益創出イメージは、現在織り込んでいないM&A、V2Xユニット、情報セキュリティ、位置情報の活用等の新しい取り組みによる収益を反映させた予想値をグラフ表示しているものです。当該事業の今後の拡大規模や展開スピードにより大きく変動することが予想されるため、当社計画値を表すものではありません。

1. 配当方針

- ・ 安定した配当を維持継続し、業績に裏付けられた更なる配当水準の向上
- ・ 連結配当性向：30%～50%を目安

配当推移

	2013年9月期 (実績) (未上場時)	2014年9月期 (実績) (未上場時)	2015年9月期 (実績)	2016年9月期 (実績)	2017年9月期 (実績)	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (予想)	2020年9月期 (予想)
年間配当金	32.5円	35円	40円 (普通配：35円) (記念配：5円)	50円 (普通配：40円) (記念配：10円)	50円 (普通配：50円)	55円 (普通配：55円)	60円 (普通配：60円)	62円 (普通配：62円)
配当性向	-	-	34.0%	42.1%	41.7%	48.4%	54.1%	50.0%

(注) 1.2015年3月23日付で普通株式1株につき100株、2016年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

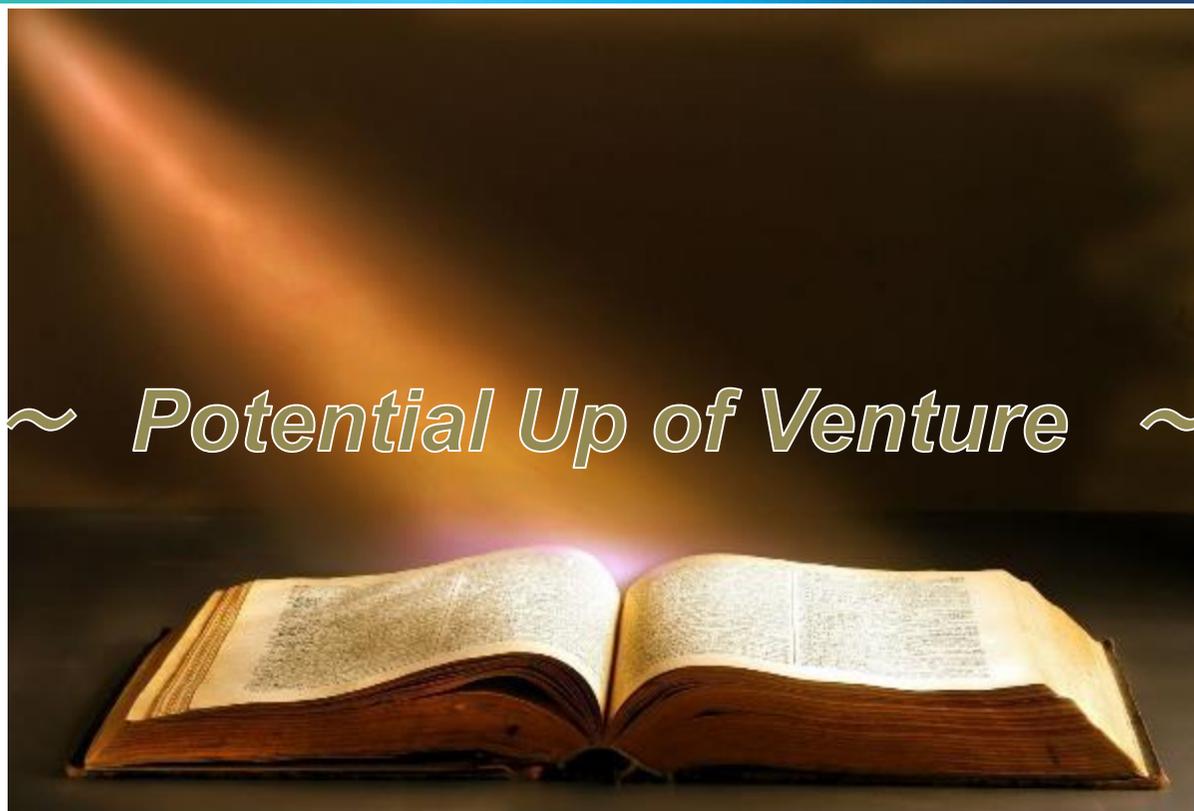
2.上記記載の年間配当金は、分割換算後の数値を記載しております。

3.2019年9月期より、配当方針を変更し、中間配当を実施。

2. 自己株式の取得

開示日	取得実績
2018年2月22日	・ 取得株式総数 46,400 株、取得価額総額 149,862,300 円
2019年1月10日	・ 取得株式総数 106,200 株、取得価額総額 249,783,700 円

6. 決算期末後のリリース



2019.11.1

- 1) Amazon ビジネス (法人様向け EC サイト) を通じた「AppGuard Solo」販売開始のお知らせ

2019.11.13

- 1) 2019年9月期 決算短信〔日本基準〕 (連結)
- 2) 2019年9月期 決算短信補足説明資料
- 3) 当社第3回ストック・オプション (新株予約権) の発行に関するお知らせ (募集要項の決定等に関するお知らせ)
- 4) 剰余金の配当に関するお知らせ
- 5) 当社第4回ストック・オプション (新株予約権) の発行に関するお知らせ
- 6) 子会社株式の一部譲渡 (合併会社化) に関する株式譲渡契約締結並びに連結子会社間の合併及び連結子会社商号変更に関するお知らせ (開示事項の経過)

2019.11.15

- 1) Summary of Consolidated Financial Results for the Year Ended September 30, 2019

2019.11.18

- 1) 主要連結子会社の代表取締役の異動 (追加選定) に関するお知らせ

パートナー企業としての共創

年月	経過内容
2018年6月	従来から、当社子会社がシステム開発を行う植物工場事業を通じ協業関係にあった、エレクトロニクス総合商社(株)レスターホールディングス（旧(株)バイテックホールディングス。以下、「レスターHD」）と資本業務提携契約を締結
2018年9月	レスターHD孫会社のVSE(株)株式の一部を当社が譲受し、合併グループ子会社化
2019年5月	レスターHD子会社の(株)インフィニテック株式の一部を当社が譲受し、グループ子会社化

売上高4千億円企業である(株)レスターホールディングスと今後より一層緊密に連携することで、

当社グループにおける
「IT事業のエコシステム」を進化・拡大させる事が可能となる

7. 参考資料

- 会社概要 **概要**
- 事業解説 **解説**



商号	PCIホールディングス株式会社 (PCI Holdings, Inc.)	資本金	10億4,623万円 (2019年9月末)
設立	2005年4月	売上高 (連結)	165億4,092万円 (2019年9月期実績)
上場	東京証券取引所市場第一部 (証券コード: 3918)	経常利益 (連結)	8億4,334万円 (2019年9月実績)
所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21-19	従業員数 (連結)	1,253名 (2019年9月30日現在)
代表者	代表取締役会長 天野 豊美 代表取締役社長 原口 直道	連結子会社	PCIソリューションズ(株) (株)シスウェーブ (株)シー・エル・シー (株)リーふねっと Safer Connected World(株) VSE(株) (株)インフィニテック

企業理念

我々は、**お客様の満足**を通じて
全社員の幸せを追求し、
そして**社会の発展**に貢献します。

行動方針

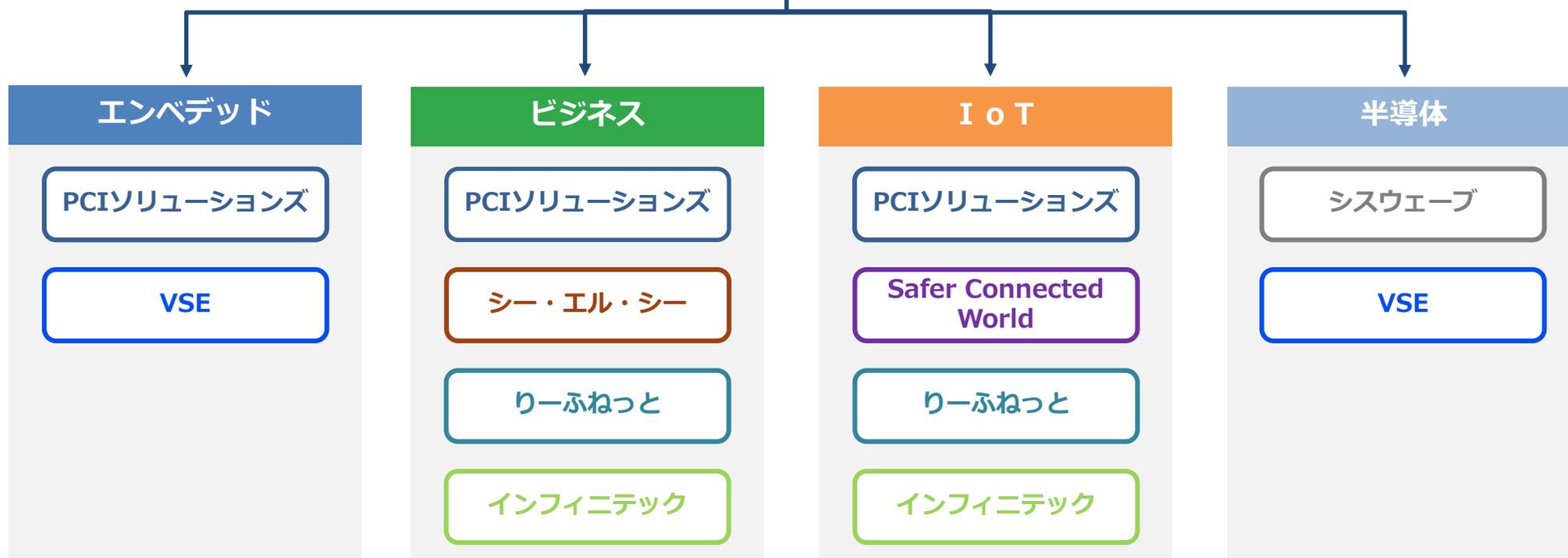
安定した事業成長を実現します
ユーザに適したソリューションを提供します
応援して頂ける企業を目指します
積極的（**P**）に変化（**C**）を求め革新（**I**）します
全てのステークホルダーに満足して頂ける企業を
目指します

（注） **P** : Positively **C** : Change **I** : Innovate

2019年9月期 グループMotto

IoTにより全てが繋がる社会になる中、
当社はITを通じて、
安心、安全、豊かな社会の実現に貢献します。

PCIホールディングス株式会社がグループ事業会社を経営管理することにより事業成長を加速させます



PCIソリューションズ

エンベデッド
ソリューション

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

当社グループの連結売上高の約65%を占めるソフトウェア開発事業会社

参入障壁が高いといわれる自動車産業向け、通信端末、情報家電等の様々な電子機器を制御する組み込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発に強み。一般事業法人向けソフトウェア開発においては、幅広い分野でお客様の需要に応えている。システム開発だけでなくIT人材の育成を目的に教育にも力を入れ、システムと人の両面から顧客に最適なソリューションを提供。加えて、組み込み系（エンベデッド）ソフトウェア開発で培った技術を基に、自動車産業関連のIoT/IoEソリューションへも展開している。

シスウェーブ

半導体トータル
ソリューション

LSIの世界を支えるテストエンジニア企業

テスト、アナログ、画像処理をコアコンピタンスとして、LSI設計・テスト・FPGA、システム機器、ソフトウェア開発まで、様々な製品開発に先進のテクノロジーを提供している。

シー・エル・シー

ビジネス
ソリューション

ITシステムを支える基盤構築から、データ管理・セキュリティ対策・運用支援まで包括的なソリューションを展開

大型汎用機・周辺機器などのリース・販売・保守サービスを長年にわたって営む。さまざまな業種、お客様に対するソリューションから基づく豊富な経験とノウハウを活かし、ハード・ソフト両面からビジネスを展開。システムの最適化を提案するエキスパートとして事業を推進。

Safer Connected World

IoT/IoE
ソリューション

セキュリティ製品を通じ、IoT/IoE社会の「安心・安全」へ貢献する社内ベンチャー企業

株式会社Blue Planet-worksの製品である「最強そして究極」のサイバーセキュリティ・エンドポイント・プロテクション『AppGuard®』の販売及び関連サービスを提供。IoT/IoE社会のセキュリティまでリードすることを目的に設立。（株）BluePlanet-workusとの合併会社。

りーふねっと

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

お客様が感動するサービスをワンストップで企画、制作、運営まで提供。モバイルに強み。オープンソースソフトウェアを活用した、開発も行う

- ・企業向けスマートフォンサービスの企画・コンサルティング・構築サービス、映画館向けチケット予約・販売・発券システムの構築等のトータルソリューションを提供。2012年には総務省より電話に関する事業者識別番号（0067）の資格を獲得し、通信事業者としての事業も展開。
- ・オープンソースソフトウェアによるITシステム構築需要に応える他、業種特化した自社開発ソフトウェアパッケージを有し、その販売ならびに当該業種の業務知識を活用したコンサルテーションも実施。オープンソースソフトウェアとクラウドのノウハウを活かした再生可能エネルギー関連データ収集IoTデバイスや収集したデータ分析を行う。クラウド運用サービスまで一括して受託するビジネスを担う。

VSE

エンベデッド
ソリューション

半導体トータル
ソリューション

半導体技術を強みとしたシステムエンジニアリングカンパニー

半導体やカメラデバイスのサービスサポート、デバイスドライバ～組込みソフト開発、通信・放送系をメインとした電子機器開発まで、ニーズに合わせたサービスを提供。（株）レスターエレクトロニクスとの合併会社。

インフィニテック

ビジネス
ソリューション

IoT/IoE
ソリューション

教育機関におけるシステムリーディングカンパニー。文教向けソフトウェア開発、IoT関連自社製品開発に強み

ネットワーク対応AVシステム、セキュリティ関連機器及びアプリケーション、音声・画像認識関連ソリューションの開発・販売を行う事業会社。2019年5月より、（株）レスターホールディングスとの合併会社として当社グループ子会社化。

エンベデッドソリューション事業



ビジネスソリューション事業



IoT/IoEソリューション事業



半導体トータルソリューション事業





さらなる新規事業分野を開拓

当社グループの位置付け

エンベデッドソリューションの開発実績を背景にIoT関連開発を行う。

参入障壁は極めて高い。

半導体チップの受託設計及びテストを行う。自社のテストセンターを所有。

特殊性が強い。

製造会社との深いリレーションによる受注。顧客企業との共同開発も実施。

参入障壁は高い。

主に大手SIerから当社が得意とする分野の開発を受注。

参入障壁は高くない。



IoT / IoEソリューション

- 自動車業界およびエネルギー業界向けIoTソリューションを開発。
- 位置情報の活用、AR/VR、Connected Worldへの貢献

半導体ソリューション

- LSI設計、テスト設計、評価等、半導体開発全般のサービスを提供。半導体開発のイノベーションをトータルサポート。

エンベデッドソリューション

- 自動車、重機・建機、車載器、情報家電、モバイル端末、ネットワーク機器などの組み込みシステムにかかるソフトウェアを開発。

ビジネスソリューション

- 金融、製造業、交通、放送等の幅広い業種へのITシステムを構築。
- ビジネスアプリケーションの開発およびその付随業務を展開。

成長分野

シナジー効果

収益基盤
(安定成長)

高い技術力の
源泉

PCIホールディングスの事業基盤

技術力 「ソフトウェア開発力」 × 「アプリケーション開発力」 × 「通信・組み込み・半導体」

知的資本 「豊富な開発実績」 × 「優良な顧客」 × 「モラルの高い社員」 × 「プロジェクト管理体制」



- ・エンベデッドシステム（組み込みシステム）は、スマートフォンや自動車、家庭用電子機器・医療機器・産業用機器等、「制御」を必要とするあらゆる製品に内蔵されているコンピュータシステムです。
- ・身の回りの多様化する様々な製品に、当社グループの最先端技術が数多く活用されています。
- ・このエンベデッドシステム開発は当社が最も得意としている分野であり、当開発で培った通信制御技術・組み込み制御技術を応用したものが、IoT/IoEソリューション事業にも活かされています。

お客様（主に製造業者）

〇〇な機能を開発して欲しいなあ



要件定義・基本設計

発注

高い参入障壁
製造業者はリコールリスクを回避するため実績・信頼ある企業にのみ発注

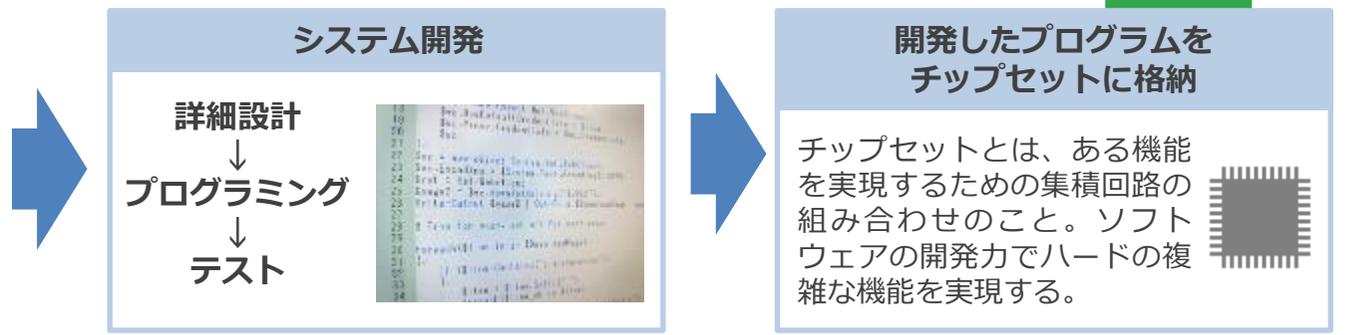


開発事例

<h4>カーナビ</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ タッチパネルで画面を切り替える機能 	<h4>自動車</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクセルを踏むとガソリン噴射量を制御する機能 ・ エンジン、エアコン等の制御機能 ・ センサーによる自動駐車機能 	<h4>スマートフォン タブレット</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディスプレイ表示の仕組み ・ アプリケーションの基盤 ・ データ通信機能 ・ 電波を切替える機能 等々 	<h4>デジタルカメラ</h4> <ul style="list-style-type: none"> ・ 画面上的アイコン・ボタンメニュー等を操作する機能 ・ シャッターを押してフォーカスを合わせる機能 ・ 画像処理機能 等々
--	---	--	--

製品にチップセット組み込み

納品



多岐にわたる機能を必要とする機器のシステムは、最先端技術を駆使し、複数のハードウェア・ソフトウェアを組み合わせ開発しています。

※上記は一例です。上記以外にも当社グループは幅広い技術でお客様のニーズにお応えしております。

「AppGuard®」テクノロジーについて

<特徴>

- ① 未知のマルウェアをブロック、② 完全防御、③ 20年以上破られたことのない実績

<採用実績>

米国・州政府関連機関、米国特殊任務関連機関等

<主要株主>

ANAホールディングス株式会社、第一生命保険株式会社、損害保険ジャパン日本興亜株式会社、株式会社電通、株式会社電通国際情報サービス、大興電子通信株式会社、**PCIホールディングス株式会社**、株式会社フェイス、株式会社ジェイティービー、吉本興業株式会社、他

PCにインストールするだけ

- ✓ 不正な行為を未然に阻止
- ✓ 未知、ゼロデイ、ランサムウェア等の最新攻撃から守る
- ✓ システムの安全性を確保
- ✓ 運用コストの削減

軽くて軽快な動作

- ✓ エンジンは、1MB以下
- ✓ スキャン無し、軽快動作
- ✓ 業務への影響無し
- ✓ プロセッサへの負荷が最小

アップデート不要

- ✓ 定義ファイルのダウンロード不要
- ✓ AIエンジンのアップデート不要
- ✓ 常時ネットワーク接続不要
- ✓ 人に依存しない



PC



サーバー



POS端末



ATM

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋



IR Movies

Advisors



黒川清

- 政策研究大学院大学名誉教授
- 特定非営利活動法人日本医療政策機構 代表理事
- 元日本学術会議会長
- 元内閣特別顧問



Mark Kelton

- Former senior CIA executive (Deputy Director of the National Clandestine Service for Counter Intelligence (DDNCS/CI))
- Director of MEK & Associates



出井伸之

- クオンタムリープ株式会社代表取締役
- 元ソニー株式会社社長・会長



Stanton D. Anderson, Esq.

- Senior Counsel to the President and CEO, US Chamber of Commerce
- Founder, AHNB
- Former member of US President's Advisory Committee



村井純

- 慶應義塾大学 大学院 政策・メディア研究科委員長
環境情報学部 教授



Robert Bigman

- Former CIA CISO (Chief Information Security Officer)
- 2BSecure President (information security consulting company)

出典：株式会社Blue Planet-works事業説明資料より抜粋

本資料のいかなる情報も、弊社株式購入や売却などを勧誘するものではありません。本資料に記載されている業績予想及び将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき弊社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いかねますのでご承知おき下さい。

お問い合わせ先

PCI ホールディングス株式会社 事業企画室

E-mail ir@pci-h.co.jp



IR Movies

Copyright (C) 2019 PCI Holdings, INC. All Rights Reserved.